

第58回 学生生活実態調査

学生の声と目線から

全国大学生協連 学生委員会 高橋明日香
(学生委員長／兵庫県立大学卒)

◇本報告に関する問い合わせ先

全国大学生生活協同組合連合会

全国学生委員会

nfuca-gakusei@univ.coop

つながる元気、ときめきキャンパス。





学生からの報告のポイント

- ◇はじめに
- ◇大学での学び
- ◇大学生の暮らし
- ◇つながりづくり
- ◇就職活動に向けて
- ◇まとめ



大学生の暮らしや考え方の「変化」

学生にとって
「3つの危機」

暮らしの危機
学びの危機
コミュニティの危機

3つの危機は
「多様化」

大学生活に戸惑い
一人ひとり違う生活

3つの危機の多様化
と「変化」

2020年

2021年

2022年



昔に戻る ではない、**新たな大学生活**

Withコロナ時代を生きる今の大学生

「前向きに進んでいる学生」

「まだまだ悩みを抱える学生」

暮らしや考え方は多様化し、

大学生活は一人ひとり違うけれど…

様々な変化に対応しながら「今」大学生活を送っています。



昔に戻る ではない、**新たな大学生活**

Withコロナ時代を生きる今の大学生

「前向きに進んでいる学生」

「まだまだ悩みを抱える学生」

暮らしや考え方は多様化し、
大学生活は一人ひとり違うけれど…

様々な変化に対応しながら「今」大学生活を送っています。



自由記述欄に注目しながら、
大学生一人ひとりが送る、
今の生活をみていきましょう





大学の授業(学び)について

- ・大学に入学して学びたいことを学べました。コロナによる困ったこととかは多かったですがそれも勉強の1つとして活かしていきたいなと思っています。(4年/自宅)
- ・今年からは対面授業がほとんどなので、先生や友達と直接コミュニケーションが取れることが嬉しい。(1年/自宅外)
- ・専門的なことを学ぶことができ、自分自身を見つめ直す機会が増えました。同じような夢を志す友人に出会えたことも、大学に入って良かったと思うことの一つです。(4年/自宅)

専門的なことを学び、自己成長につなげる

様々なひとと直接つながることで刺激を得る

今の大学の学びに満足する学生たちの声



大学の授業(学び)について

- ・オンライン授業も対面授業もそれぞれに利点がありますが**同一日にオンライン授業と対面授業が連続**したりすると対面授業に間に合うために早く家を出て大学の教室でオンライン授業を受けることがあります。友人が通う大学は曜日によってオンライン授業か対面授業かを分けているそうなのでそのシステムだともっと楽だろうなと思います。(2年/自宅外)
- ・**授業がほとんどオンライン**、なんのために入学したのか、一切のやりがい楽しみが存在しない非常に退屈でただただ学費を取られるだけ、正直もう辞めたい(2年/自宅外)
- ・**Wi-Fiが弱すぎて**オンライン授業が満足に受けられない。**そもそもWi-Fiが使えない場所がある**。(3年/自宅)
- ・講義の難易度がバラバラだが、**難しくても相談したくても先生にも友達にも相談できない**、同じコースの先輩と知り合う機会がない。(1年/自宅外)
- ・オンライン授業のせいで、**対面授業になれていなくて**、90分座って集中するのが難しくなったこと。**自分1人で悩むことが増えた**。(2年/自宅)



大学の授業(学び)について

対面とオンラインの同日授業に困惑する声

- ・ オンライン授業も対面授業もそれぞれに利点がありますが**同一日にオンライン授業と対面授業が連続**したりすると対面授業に間に合うために早く家を出て大学の教室でオンライン授業を受けることがあります。友人が通う大学は曜日によってオンライン授業か対面授業かを分けているそうなのでそのシステムだともっと楽だろうなと思います。(2年/自宅外)
- ・ **授業がほとんどオンライン**なんのために入学したのか一切のやりがい楽しみが存在しない非常に退屈でただただ学費を取られるだけ、正直もう辞めたい(2年/自宅外)
- ・ **Wi-Fiが弱すぎて**オンライン授業が満足に受けられない。**そもそもWi-Fiが使えない場所がある**。(3年/自宅)
- ・ 講義の難易度がバラバラだが、**難しくても先生にも友達にも相談できない**、同じコースの先輩と**知り合う機会がない**。(1年/自宅外)
- ・ オンライン授業のせいで、**対面授業になれていなくて**、90分座って集中するのが難しくなったこと。**自分1人で悩むことが増えた**。(2年/自宅)



大学生の暮らし方について

- お金がなく、将来のために貯めていた貯金が減っていく。(3年/自宅外)
- とにかく学費にしろ生活費にしろお金がかかり、アルバイトで自ら賄っている身としては学習との両立が非常に困難です。そのため、遊ぶ時間なども無く、友達を作ったり交流する機会が無く、大学生活が終わってしまいそうです。(3年/自宅)
- 福祉に関する資格取得を目指して、大学に入学し、勉強に励んでいるため、大学で自身の学びたいことを勉強できていることは良かったと感じている。(3年/自宅)
- 就職について悩んだり、アルバイトをする勇気が出てきた。(3年/自宅外)
- 自分の時間が沢山できたので、アルバイトや趣味に使えて良かったです。(1年/自宅)

お金

資格

アルバイト
・
趣味



多様な悩みと変化する大学生生活の重点

同日にある対面とオンライン講義

学費・物価高騰による学業・アルバイト等



多様な悩みと変化する大学生活の重点

同日にある対面とオンライン講義

学費・物価高騰による学業・アルバイト等

趣味やアルバイトをし、
より大学生活を充実させる姿も…



サークルやアルバイト・趣味

◇サークル

- ・よかったことは、部活動で仲のよい同期、後輩、先輩ができたこと。困ったことはコロナ禍における大学の制限が厳しく、十分に部活動や学生生活を楽しめない。(3年/自宅外)
- ・興味のある分野について学べること、一人暮らしを始めたこと、サークルに入ったこと、授業やサークルで新たな人間関係ができたこと、交通機関に慣れたことが大学に入学してよかったことです。(2年/自宅外)

◇アルバイト・趣味

- ・自分の時間が出来たこと、読書という趣味を見つけられたこと。(1年/自宅外)
- ・大学に入り、同じ趣味を持った仲間が案外近くにいて、とても楽しく生活することが出来ています。これからも充実した生活を送るために、色々と考えて頑張っていきたいです。(2年/自宅外)
- ・大学以外の場所で趣味に励んでいるため、大学にゼミ生以外に友達ができず、たまに孤独感を感じている。大学に所属している実感が少ない。(3年/自宅)



多様な悩みと変化する大学生活の重点

サークルや部活動でできる人とのつながりが希薄化

つながりづくりができない…



多様な悩みと変化する大学生活の重点

勉強

よき友、人間関係

ほどほどに組み合わせた生活

サークル・部活動

趣味

大学生活
の重点



多様な悩みと変化する大学生活の重点

勉強

よき友、人間関係

ほどほどに組み合わせた生活

サークル・部活動

趣味

大学生活
の重点



大学生生活充実度について

学生生活充実度は、

コロナ禍前の19年の水準に回復！

◇1年生の充実度は調査史上最高値の90.5%を記録！

◇2020年度入学者(現3年生)の充実度も増加。

(70.8%→84.4%)

様々な場所で行う つながりづくり

変化にあわせ、多様な生活・考えからもつながりを見つける



心身の健康について

- ・高校の頃までのような授業形態では無いため、生活リズムや人間関係も難しく心身の健康面が不安定になりやすかった。(4年/自宅)
- ・大学に入学してから、部活動での人間関係や、自分自身のことで悩み、ストレスフルになってしまったことがあります。でも健康支援センターには足を運びづらく、相談できませんでした。相談するエネルギーすらも残っていない、という学生は少なくないのかなと思います。チャットなどで気軽に相談することができたら、もう少し楽しく、いい意味で気楽に大学生活（特にコロナ禍）を過ごせたのかなと思います。いつでも、すべての学生の心身の健康を守ってくれる大学であることを願っています。(4年/自宅)

心身が不安定で大学生活を楽しく過ごせていないという声

一人ひとりが心身ともに健康な大学生活を送れる場づくりを…



就職活動について

- 大学は学生個人に委ねることが多いので、入学した時には色々とわからないことがありました。今でも就活の仕組みがよく分からず、もっと手軽に学べる場があれば良いのにと思います。(2年/自宅)
- 毎日のように就活の不安があり、伴って多額の奨学金返済の不安も募っていること。支援センターに向かうものの、いざ何を聞くべきなのか、悩みの根本的なところすら考えられず相談ができないこと。(3年/自宅)
- 対面授業の再開に他校よりも時間がかかり、気づけばほとんど授業のない四年生になっていた。就活や院試の情報をうまく入手できず、精神的に体調を崩した。(4年/自宅)

情報が掴みにくいことによる不安の声はたえません
相談できる場所の拡充と周知が必要



大学に入学してよかったこと

- ・コロナの影響もあり思っていた学生生活ではありませんが、その中でもサークルなどに所属することにより、それなりに充実した学生生活になっています。大学に進学して良かったです。(3年/自宅)
- ・大学生活の中でより専門的な学びができてとても充実した授業も多いので多くの知見を得ることが出来たと感じています。また、生活面でも多くの切磋琢磨し合える仲間が出来たのでこの大学に入学してよかったと心から思います。(4年/自宅)
- ・インターンシップなどの社会活動に参加できた。友達がたくさんできた。いまとても大学生活が充実していてうれしい。(2年/自宅)
- ・学部専攻問わず友達や先輩後輩の繋がりができて高校生の頃より充実した学校生活を送っています。(3年/自宅)
- ・アルバイトの収入があり自由にできることが増え、とても充実している。今までのように一つの教室で同じ生徒とずっと授業を受けるということが無いので、友人と適度な距離を保ちつつ仲良くできる所が私にとっても合っている。(1年/自宅外)
- ・最初は友達が作れず不安でしたが、学校生活に慣れることで友達も増えて、今とても充実しています。(2年/自宅)



大学に入学して困ったこと悩んだこと

- ・対面になってから授業は楽しくなりました。なかなか同じ大学内に友達が少ないのが悩みです。(1年/自宅外)
- ・深い友達や悩みを相談できる人は限られる。時間のあるうちに大学生にしかできない体験をしたい。一人暮らしでビジネス付き合いが多く友達も少なく恋人もいないと寂しさはある。(1年/自宅)
- ・皆で仲良くという訳ではなく、本当に仲のいい人だけという雰囲気があるため、多くの人と仲良くしたいと思う性格の私は当初悩みました。(2年/自宅外)
- ・自分の学部学科は本当に自分のやりたかったことなのかと悩んだことがあった。(4年/自宅)
- ・金銭的に比較的困窮している点が悩みである。(3年/自宅外)
- ・大学に入学してから、自分が何もできない劣った人間だと感じるが増えました。それゆえに生きるのが辛くなる日々が続くこともあります。(3年/自宅外)
- ・勉学とアルバイトの両立の仕方が分からない。(2年/自宅)



大学生生活を元気に！

人と出会い、つながりあう

学び、多様な価値観に触れ、自己成長する

大学生生活が充実していることを実感できる

学べず、出会えず、一人で悩みを抱え込む学生も一歩を踏み出し
元気になるように…

新たな大学生生活を創造する大学生をこれからも応援し続け、
夢や希望を持ち、元気に生活できるひとが増えるように…



大学生活を元気に！ ～大学生協でも多様なつながりの場づくりを～

QBK NEWS

印刷して学生みながらお読みください！

全国大学生協連九州ブロック
執筆者：進藤京大
協力：長崎大学生協
発行日：2022年12月13日

第032号
(通号507号)

長崎大学生協 ヴィーガンメニュー試食会

取り組み概要
日時：2022年12月6日(火)13:00～14:00
8日(木)13:00～14:00
場所：文芸会堂2階
参加者数や組合員の反応：6日は7名、8日は6名の参加があり、試食と交流を楽しんでいた。

背景や概要：組合員からヴィーガンでも食べられるメニューの提供をしてほしいという要望があり、実際に食堂で提供するための準備段階として組合員向けの試食会が開催された。価値観が多様化する大学生活に大学生協としても貢献していきたい、という思いが込められている。

POINT.1 きっかけは組合員の声
今回の取り組みは組合員からの要望に応える形で実施したものです。大学生協にとって、大学生活を様々な組合員の声を取り入れて運営していくことは根本的なことであり、とても重要な意義を持っています。学生や教職員、留学生といった様々な立場や、ヴィーガンなどの多様な思想を持った人々が生活する大学というフィールドに存在する生協だからこそ、積極的に対応していくことが求められています。コロナ禍で生協の継続的発展を支える組合員が減少しました。こうした組合員の声を取り入れた活動を行うことで大学生協全体を盛り上げていききっかけにもなっていました！

POINT.2 美味しく栄養満点！
試食会で提供されたのは実際に食堂で選ばれりて提供予定の種類のカレー。どれも動物性食品は不使用で野菜や豆がふんだんに使われており、栄養価が高いだけでなく、味もとても美味しくかったです！断面などの関係から通常のカレーに比べて提供価格は若干割安になっています。その一方で当たり100gの量が美味しく頂くことができますので、ヴィーガンの組合員はもちろん、それ以外の組合員にもぜひ食べていただきたいですね！

POINT.3 交流のきっかけも！
試食会終了後、参加同士で自発的に交流する様子が見られました！やはりヴィーガンに関する取り組みということで留学生の参加も多く、日本人学生と交流のきっかけにもなっていました。大学生協の食事は本業発足を促すだけの場所ではなく、組合員同士が交流するための場所でもありました。少しずつではありますが、コロナ禍で萎縮してしまったそうした機能も回復の兆しが見えてきました。

UNIV CO-OP
私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

多様な価値観

様々な階層

TOKYO BLOCK NEWS あくていぶ

印刷して学生みながらお読みください！

全国大学生協連東京ブロック
執筆者：鈴木梨花
協力：宇都宮大学生協
発行日：2022年10月27日

第89号
(通号1794号)

宇都宮大学生協 組合員とつくれた「納涼祭」

取り組み概要
日時：2022年6月24日(金)、7月1日(金)
17:30～20:00
場所：緑ヶ丘キャンパス生協会館
参加者数：1日目127名、2日目189名

背景や概要：夏祭りを行うことにより、各階層(学生、学生、教職員)の方々の交流の場を作るとともに、企業自身を楽しんでもらうことを目的とした。

POINT.1 階層を超えた組合員どうしの交流の場
企画当日は多くの参加者が集まり、ミニゲームやサークル発表を楽しみました。参加者の中には学生や教職員の姿も多く見られ、学生組合員だけでなく幅広い階層の組合員に参加してもらえました。多様な組合員の参加により、階層を超えた組合員どうしの交流の場にもなり、生協が組合員のコミュニティの中として身近な存在であることアピールする機会が作れました。

POINT.2 組合員の声から企画内容を考案した
対面での活動が制限されて新入生を獲得できなかった各サークルの上級生、どのサークルに入ればよいかわからないという1年生の声に、サークル発表のステージを設けました。組合員の声に耳を傾け、「今」求められていることを取り組みに反映できました。
また、サークルの代表との関わりにより、組合員と大学生協がつながる場、また組合員どうしがつながる場として、組合員にコミュニティづくりの機会を提供することができました。

POINT.3 学生委員もみんなで楽しむ
ミニゲームではヨーヨー釣り、型抜き、射的の3種を用いて、組合員が楽しめることになりました。夏らしく季節を取り入れた企画になりましたね。
また、企画当日は学生委員が階次を運営しました。運営スタッフが一員でわかると同時に、雰囲気づくりにもなりました。学生委員も他組合員と一緒に夏を楽しめたようです。組合員と一緒にみんなで楽しむ、を実現できた組合員交流の場になってとてもいいですね！

UNIV CO-OP
私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

学生と職員

K's NEWS

印刷して学生みながらお読みください！

全国大学生協連関西北陸ブロック
執筆者：伊東栞佑
協力：近畿大学生協
発行日：2022年7月29日

第144号

近畿大学生協 ひとことカードによる運営参加

取り組み概要
日時：コンピニPlum
概要：コンピニPlumにひとことカードを
設置し、組合員から寄せられたこと
に対して職員が回答する。

組合員の声や感想：2021年度下半期のひとことカード投函数が合計で90件(最多月で16件)であるのに対し、2022年の各月の投函数が4月：17件、5月：25件、6月：27件と月ごとにも増加している！生協公式Twitterの投稿にも多数の反響がある。

POINT.1 ひとことカードを始めるきっかけ
近畿大学生協で、企画されたひとことカードの返信に藤井さん(近畿大学生協の経営する購買「コンピニPlum」の役員)が関与するようになったきっかけは、ひとことカードの取組が増えたことにある。新型コロナウイラス感染症の影響が顕著し、大学が再開したことで、登校する学生も増えました。そのため、食品担当者ですべてを回答することができます。商品や店舗には関係のない質問も増えてきたため、返信が来るようにしました。

POINT.2 ひとことカードをもっと書いてもらうために
この増えたひとことカードの中には、なぞかけや悩み相談、アニメのキャラクターのイラストといった、本来の用途と異なる内容の投稿が多くなりました。そのような質問に対しては、藤井さんは学生の期待が高い、一つひとつ手書きで回答しています。
結果、返信はひとことカードの投稿数も増え、ひとことカードを見るために来店する学生も増えてきました。来店ついでに商品を買っていただくことで、店舗を盛り上げることにもつながっています。

POINT.3 職員さんの回答に対する想い
寄せられたたくさんの方のひとことカードに返信する中で、藤井さんが大切にしていることは2つあります。
1つ目は、学生と交流したいという気持ちで書くことを、生協に関する内容でも、それ以外の内容でも、返信を丁寧な言葉だけでかわらす、イラストを入れて回答しています。
2つ目は、例えば自販機であつてもひとことカードを設置した人の気持ちを伝えるために、自販機に貼るようになっています。店舗に反応を、実際に使ったことにも丁寧に答えるようにしています。

UNIV CO-OP
私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

学生と職員



大学生活を元気に！

～今後も大学生のよりよい生活を考え続けます～

私たちは人とのつながりの中で
今より少しい暮らしを実現しようとしています

これからも大学生活を元気に送れる学生がふえるように…

ひとがつながりあい語り合える場を
様々な人とつくっていきたいと思います



大学生生活を元気に！

～大学生協も大学生の生活を支えます～

**つながる元気、ときめきキャンパス
～協同で広がる、組合員の元気！～**

- ◇私たちは、組合員が利用・参加し、自分たちの生活向上を実感できる大学生協づくりを進めます。
- ◇私たちは、組合員の生活実態を把握し、大学生協全体で組合員の健康で安全な大学生生活を支えます。
- ◇私たちは、組合員の学び方や大学の学修支援について把握し、組合員が仲間とともに自己実現・成長する機会をつくります。
- ◇私たちは、SDGsの達成に向けて、組合員の興味・関心を出発点に、知り・知らせ・考え・話し合い・行動するきっかけをつくります。

第58回 学生生活実態調査

学生の声と目線から

全国大学生協連 学生委員会 高橋明日香
(学生委員長／兵庫県立大学卒)

◇本報告に関する問い合わせ先

全国大学生生活協同組合連合会

全国学生委員会

nfuca-gakusei@univ.coop

つながる元気、ときめきキャンパス。

